



NISSAY

# 2020年度第3四半期 業績の概要

2021年2月12日

日本生命保険相互会社  
Nippon Life Insurance Company

# 日本生命グループにおける 新型コロナウイルス感染症に関連するこれまでの取り組み

## お客様

<ご契約に対する特別取り扱い・契約貸付（新規貸付）の利息免除について>

- 保険料の払い込みに関する期間の延長（2020年3月16日から9月30日にお申し出があったご契約と、2021年1月7日以降に緊急事態宣言が発令された一部の地域においてお申し出があったご契約が対象）
- 保険金・給付金・契約貸付金の簡易迅速なお支払い
- 保険契約の更新手続きの遡及対応（2020年9月30日にて取り扱い終了）
- 新規の契約貸付の利息免除（2020年6月30日にて取り扱い終了）

<「新型コロナウイルス感染症」に罹患されたお客様への保険金・給付金のお支払いについて>

- 「災害割増特約」「（新）傷害特約」等のお支払いの対象
- 自宅またはその他病院などと同等とみなされる施設での治療も、入院給付金のお支払いの対象

<医療機関等への支援について>

- クラウドファンディング「新型コロナウイルス感染症：いのちとところを守るSOS基金」に2,000万円の寄付
- 日本赤十字社の血液センターへの提供を目的に社内献血を大阪本店および東京本部にて実施
- 医療関係機関に1億円の寄付
- フェイスシールド1万個を医療現場等へ無償提供

## 地域 ・ 社会

<資産運用での貢献について>

- 日本生命浜松町クリアタワーにおいて、「WELL Health-Safety Rating」を取得
- 世界銀行（国際復興開発銀行）が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドに1.5億豪ドル（約114億円）を投資
- Grove Street社が運用するファンドに100百万米ドル（約105億円）を投資
- 米州開発銀行が発行するサステナブル・シティ・ボンドに1.4億豪ドル（約104億円）を投資
- TPG社が運用するファンドに20百万米ドル（約21億円）を投資（インパクト投資の開始）
- 国際金融公社が発行するソーシャルボンドに2億豪ドル（約131億円）を投資

## 1 グループ概況

## 2 国内生命保険事業

【参考】グループ各社の概況

# 1 グループ：主要項目概要

保険料等収入 (単位：億円)  
⇒ 37,997  
(前年同期比 ▲11.2%)

基礎利益 (単位：億円)  
⇒ 4,474  
(前年同期比 ▲5.1%)

ソルベンシー・マージン比率 (単位：%)  
⇒ 1,094.3  
(前年度末比 +46.8pt)

有価証券 含み損益 (単位：億円)  
⇒ 127,496  
(前年度末比 +27.4%)

## 国内生命保険：個人保険・個人年金保険

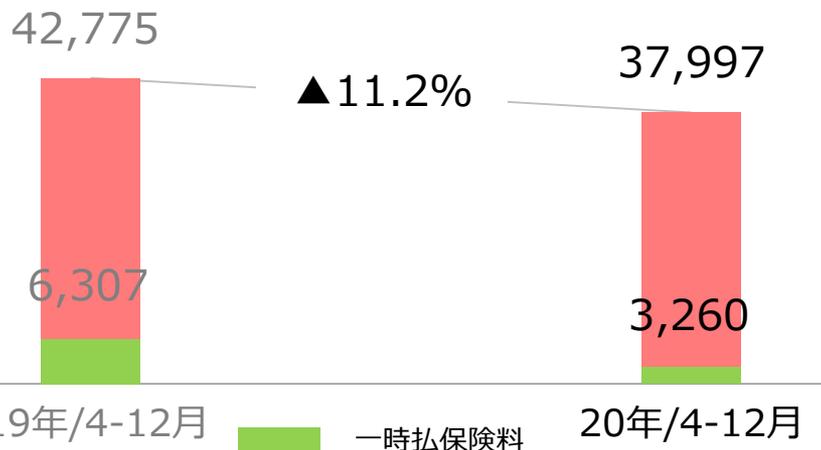
(単位：億円、万件)

	年換算保険料	件数	保障額等
新契約	⇒ 2,142 (前年同期比 ▲31.1%)	⇒ 298.2 (前年同期比 ▲25.4%)	⇒ 56,160 (前年同期比 ▲20.0%)
保有契約	⇒ 44,982 (前年度末比 ▲0.6%)	⇒ 3,666 (前年度末比 +1.3%)	⇒ 1,767,877 (前年度末比 ▲1.3%)

# 1 グループ：保険料等収入・基礎利益

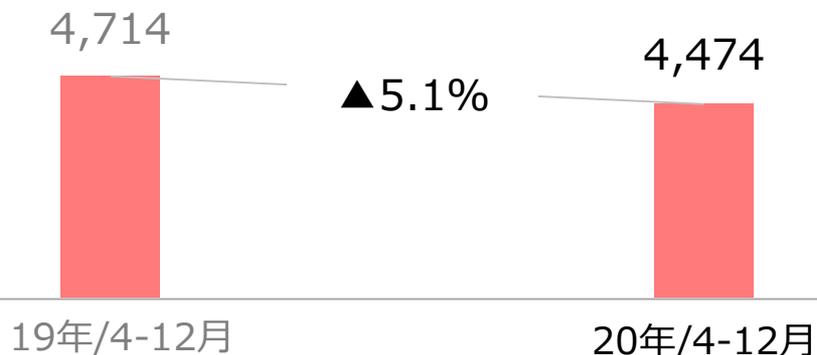
## 保険料等収入

(単位：億円)



## 基礎利益

(単位：億円)



	2020年 4-12月	前年同期比
保険料等収入	37,997	▲11.2%
日本生命	31,104	▲7.7%
大樹生命	3,375	▲32.8%
ニッセイ・ウェルス生命	2,004	▲16.6%
MLC	1,197	▲10.8%

	2020年 4-12月	前年同期比
基礎利益	4,474	▲5.1%
日本生命	4,237	▲1.3%
大樹生命	162	▲25.1%
ニッセイ・ウェルス生命	171	▲12.8%
はなさく生命	▲106	▲86.8%
MLC	▲146	▲418.9%

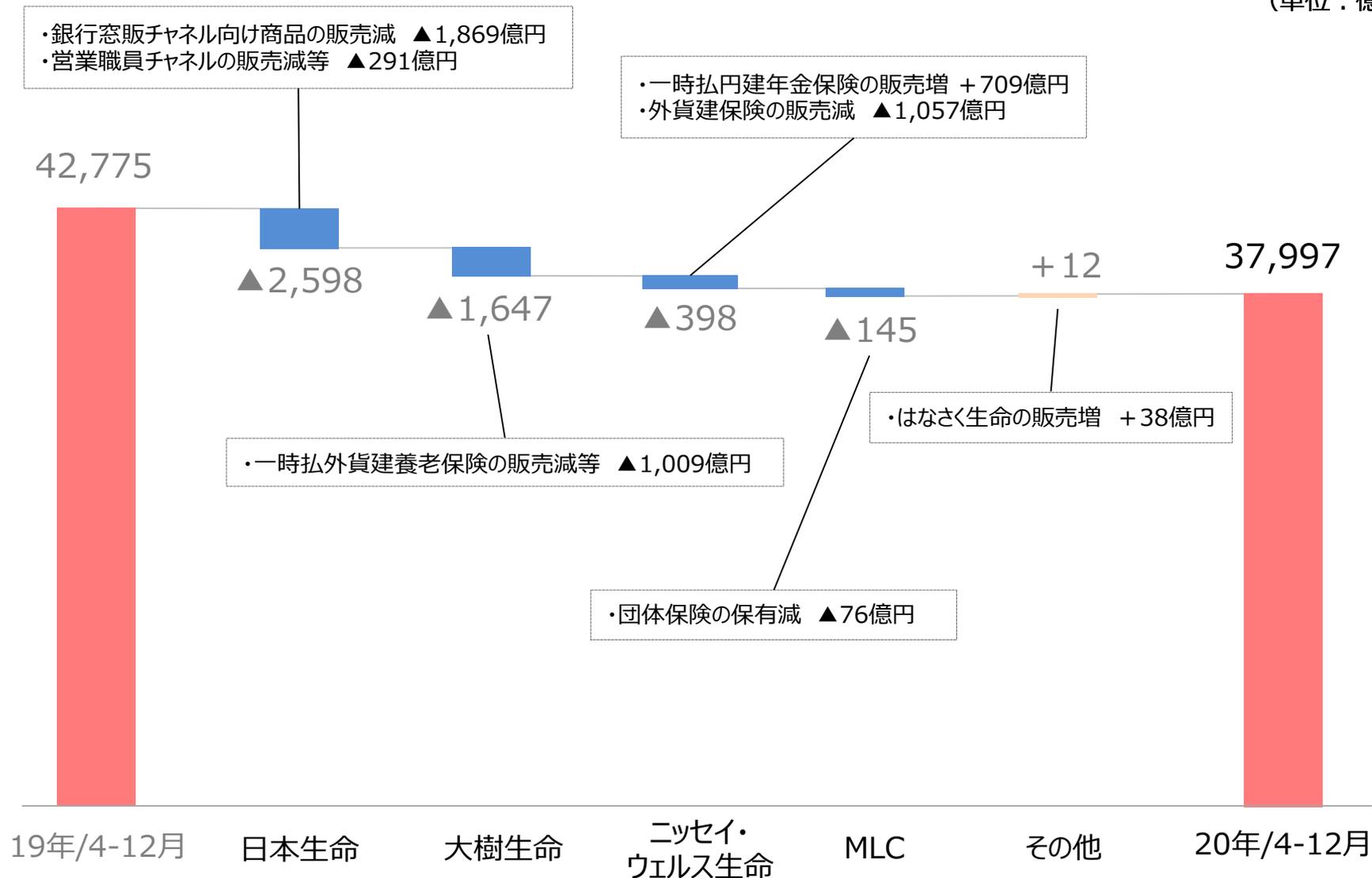
- ※ 一時払保険料は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命における個人保険・個人年金保険の一時払商品を対象に算出
- ※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

- ※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

# 1 グループ：保険料等収入



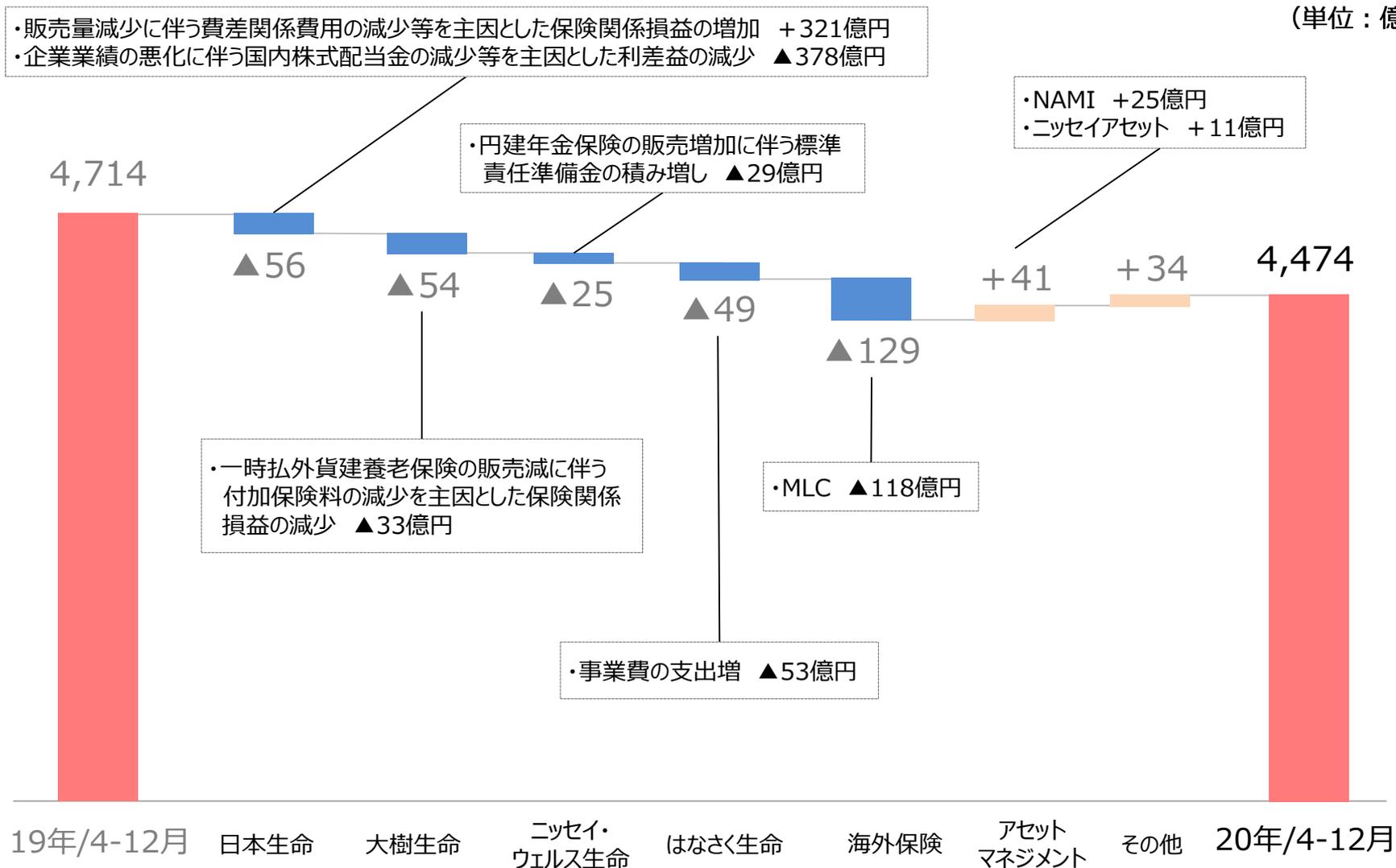
(単位：億円)



※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC、米国日生を対象に算出）

# 1 グループ：基礎利益

(単位：億円)



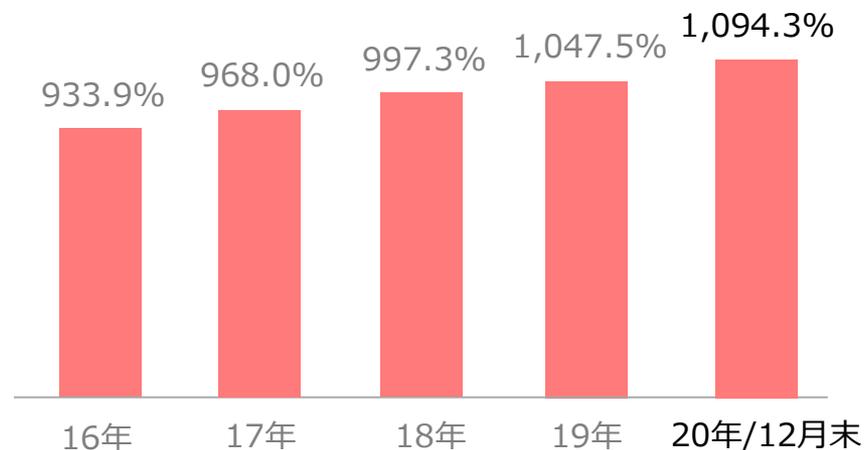
※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※ その他は配当相殺の増減

※ 【会社名称】 NAMI：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント ニッセイアセット：ニッセイアセットマネジメント

- ソルベンシー・マージン比率は、劣後ローン調達に加え、危険準備金・価格変動準備金の積み増しを通じた自己資本の強化に伴い、前年度末比で増加。
- 実質純資産は、自己資本の着実な積み増しに加え、内外株価の上昇による有価証券の含み益の増加により、前年度末比で増加。

## ソルベンシー・マージン比率



## 実質純資産

(単位：億円)



※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外生命保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出

## 損益計算書

- 有価証券売却益の計上を主因に、経常利益および四半期純剰余は前年同期比で増加。

(単位：億円)

	2020年 4-12月	前年同期比
経常収益	58,313	▲1.7%
保険料等収入	37,997	▲11.2%
資産運用収益	18,419	+30.0%
経常費用	54,698	▲4.4%
保険金等支払金	33,154	▲0.9%
資産運用費用	2,449	▲5.4%
事業費	5,818	▲3.9%
経常利益	3,615	+69.1%
(基礎利益)	4,474	▲5.1%
特別損益	▲1,116	▲104.4%
四半期純剰余(利益)	2,106	+42.7%

## 貸借対照表

- 日本生命の増加を主因に、総資産および純資産は前年度末比で増加。

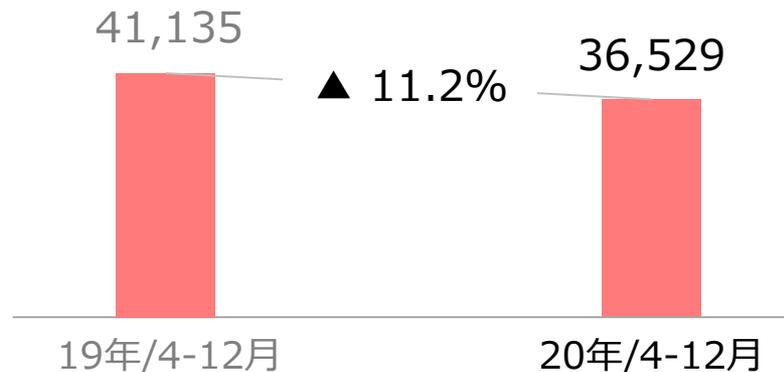
(単位：億円)

	2020年 12月末	前年度末比
総資産	840,012	+4.9%
うち有価証券	692,158	+6.3%
うち貸付金	84,951	+0.7%
うち有形固定資産	19,083	▲0.3%
負債	756,365	+2.3%
うち保険契約準備金	678,726	+1.7%
うち責任準備金	664,759	+1.6%
うち価格変動準備金	16,340	+6.7%
純資産	83,646	+35.9%

- 国内における保険料等収入は減収。
- 営業職員等チャネルは、徐々に回復基調にはあるものの、年度始のコロナ禍を受けた販売減や、海外金利の低下による一時払外貨建養老保険の販売減等により減収。
- 銀行窓販チャネルは、コロナ禍や海外金利の低下による販売減等により減収。

### 保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2020年 4-12月	前年同期比
保険料等収入（国内計）	36,529	▲ 11.2%
うち個人保険・個人年金保険	25,855	▲ 11.5%
営業職員等チャネル	22,771	▲ 4.7%
銀行窓販チャネル	3,084	▲ 42.2%
うち団体保険	2,045	+ 1.6%
うち団体年金保険	7,976	▲ 7.1%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

- 国内の個人保険・個人年金保険の年換算保険料・件数・保障額等は、前年同期比で減少。
- 営業職員等チャネルは、徐々に回復基調にはあるものの、年度始のコロナ禍を受けた販売減や、海外金利の低下による一時払外貨建養老保険の販売減等により減少。
- 銀行窓販チャネルは、コロナ禍や海外金利の低下による販売減等により減少。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険	年換算保険料		件数		保障額等	
	2020年 4-12月	前年同期比	2020年 4-12月	前年同期比	2020年 4-12月	前年同期比
国内計	2,142	▲31.1%	298	▲25.4%	56,160	▲20.0%
営業職員等チャネル	1,511	▲17.4%	294	▲24.7%	53,023	▲17.4%
銀行窓販チャネル	631	▲50.6%	3	▲56.7%	3,137	▲47.3%
日本生命	1,464	▲20.6%	283	▲25.3%	50,189	▲18.7%
大樹生命	130	▲49.4%	8	▲46.2%	3,837	▲38.4%
ニッセイ・ウェルス生命	514	▲47.9%	1	▲11.0%	1,755	▲19.0%

※ 国内計・チャネル別内訳は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

- 国内の個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料・保障額等は減少、件数は増加。
- 団体保険・団体年金保険は増加。

(単位：億円、万件)

### 個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2020年 12月末	前年度末比	2020年 12月末	前年度末比	2020年 12月末	前年度末比
国内計	44,982	▲0.6%	3,666	+1.3%	1,767,877	▲1.3%
日本生命	37,391	▲0.6%	3,365	+1.4%	1,554,562	▲1.2%
大樹生命	5,122	▲0.4%	256	▲1.4%	181,964	▲2.6%
ニッセイ・ウェルス生命	2,398	▲2.0%	33	+2.2%	30,886	▲0.9%

### 団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2020年 12月末	前年度末比	2020年 12月末	前年度末比
国内計	1,107,301	+0.7%	176,217	+4.5%
日本生命	990,345	+1.2%	135,972	+1.6%
大樹生命	116,955	▲3.4%	7,772	▲0.7%

※ 個人保険・個人年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値

※ 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高(26,760億円)、確定拠出年金の投資信託(日本生命販社分5,699億円)を含む

- 2021年1月7日に一部地域を対象に緊急事態宣言が発令されたことを踏まえ、発令された地域のご契約を対象に、お客様からのお申し出に応じて、保険料の払い込みに関する期間を最長6カ月間延長。
- 今後緊急事態宣言の対象となる地域が拡大した場合は、その地域についても特別取り扱いの対象とする。

### ■ 保険金のお支払い

		合計
死亡保険金		約260件 約33.2億円
	災害保険金	約50件 約4.0億円

### ■ 給付金のお支払い

		合計
入院給付金		約4,570件 約6.6億円
	みなし入院	約2,050件 約2.9億円

### ■ 保険料の払い込みに関する期間の延長

	2020年4-9月	2021年1月
保険料払い込み猶予	約26,900件	約310件

※ 死亡保険金および入院給付金は、2020年4-12月までの支払実績

※ 2021年1月の保険料の払い込みに関する期間の延長は、緊急事態宣言が発令された11都府県の受付件数

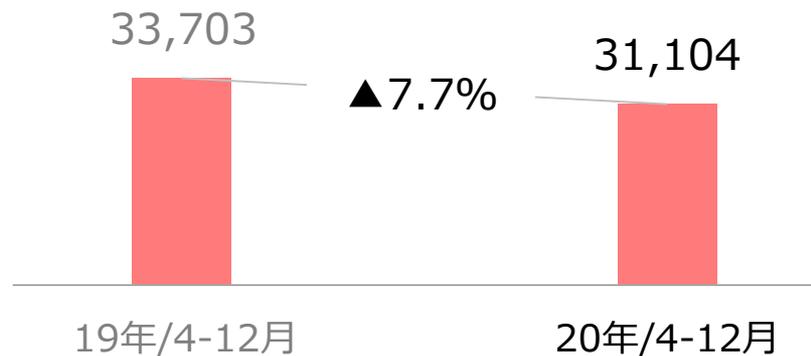
**【参考】**  
**グループ各社の概況**

# 【参考】日本生命（単体）：収支

- 日本生命単体は前年同期比で減収・減益。
- 保険料等収入は、海外金利の低下等による銀行窓販チャネル向け商品の販売減や、年度始のコロナ禍を受けた営業職員チャネルの販売減等により減収。
- 基礎利益は、企業業績の悪化に伴う国内株式配当金の減少等を主因に減益。

## 保険料等収入

(単位：億円)



## 基礎利益



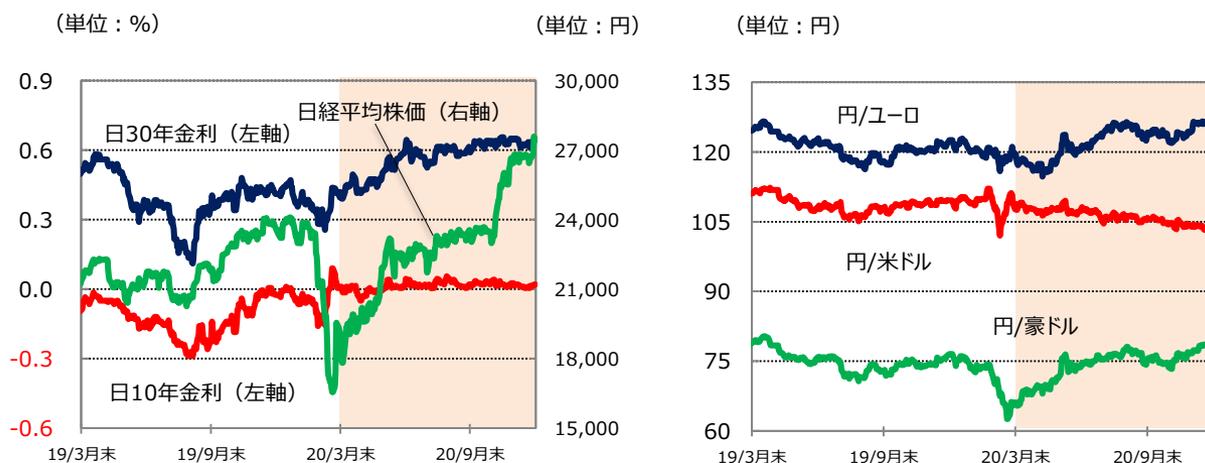
# 【参考】日本生命（単体）：資産運用

## 資産運用収支（一般勘定）（単位：億円）

- 資産運用収支は前年同期より増加。
- 資産運用収益は、年度始の社債スプレッドの拡大を捉えた外国国債から外国社債への入替や内外株式の売却に伴う有価証券売却益の計上により増加。
- 資産運用費用は、金融派生商品費用の減少により減少。

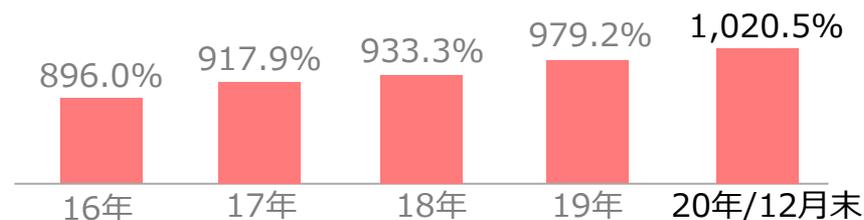
	2020年 4-12月	前年同期差
資産運用収益	14,440	+2,577
うち利息及び配当金等収入	9,671	▲514
うち有価証券売却益	4,589	+2,976
資産運用費用	2,157	▲141
うち有価証券売却損	388	+95
うち有価証券評価損	301	+102
うち金融派生商品費用	409	▲579
資産運用収支	12,282	+2,718

## マーケット状況



- ソルベンシー・マージン比率は、劣後ローン調達に加え、危険準備金・価格変動準備金の積み増しを通じた自己資本の強化に伴い、前年度末から増加。
- 有価証券の含み益は、内外株価の上昇により前年度末から増加。

## ソルベンシー・マージン比率



## 自己資本

(単位：億円)



## 有価証券 含み損益

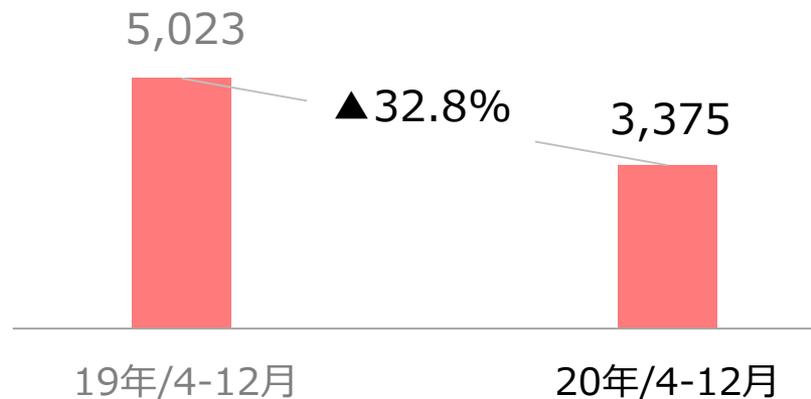
(単位：億円)

	2020年 12月末	前年度末差
時価のある有価証券	120,091	+24,256
公社債	34,473	▲ 4,726
国内株式	50,950	+19,169
外国証券	32,234	+9,568
その他	2,432	+243

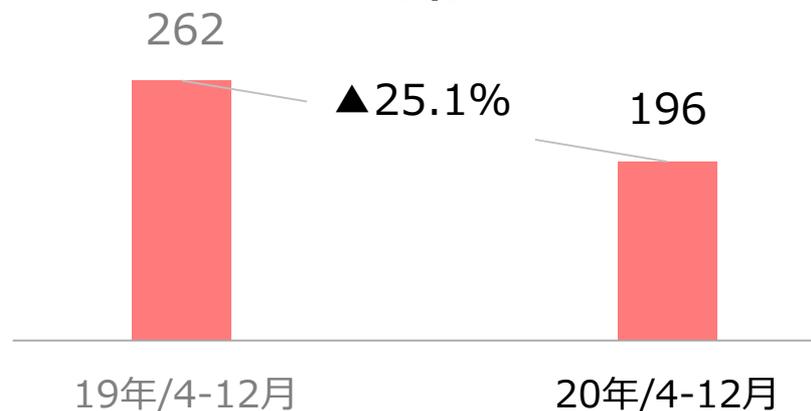
(単位：億円)

- 大樹生命は前年同期比で減収・減益。
- 保険料等収入は、海外金利の低下による一時払外貨建養老保険の販売減を主因に減収。
- 基礎利益は、一時払外貨建養老保険の販売減に伴う付加保険料の減少を主因とした保険関係損益の減少等により減益。

## 保険料等収入



## 基礎利益

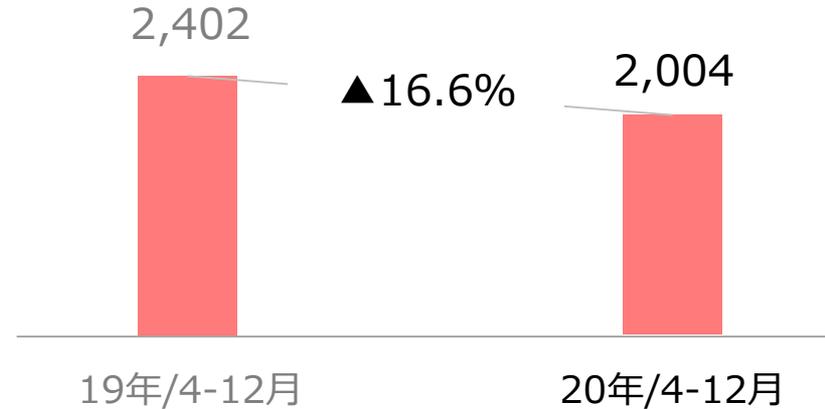


※ 単体の数値を記載

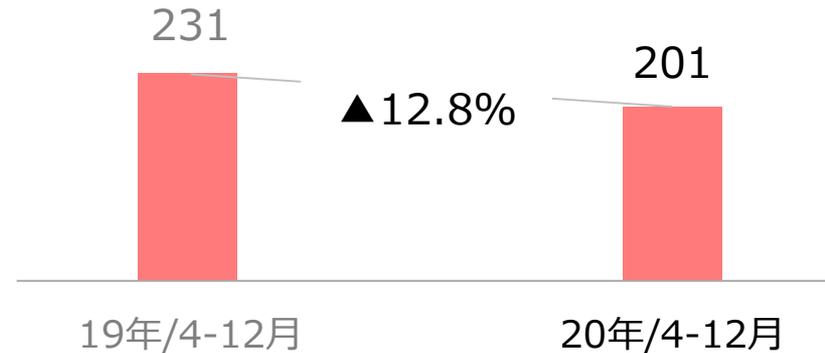
(単位：億円)

- ニッセイ・ウェルス生命は前年同期比で減収・減益。
- 保険料等収入は、海外金利の低下による外貨建保険の販売減により減収。
- 基礎利益は、円建年金保険の販売増加に伴う標準責任準備金の積み増しを主因に減益。

## 保険料等収入



## 基礎利益



※ 単体の数値を記載

# 【参考】はなさく生命

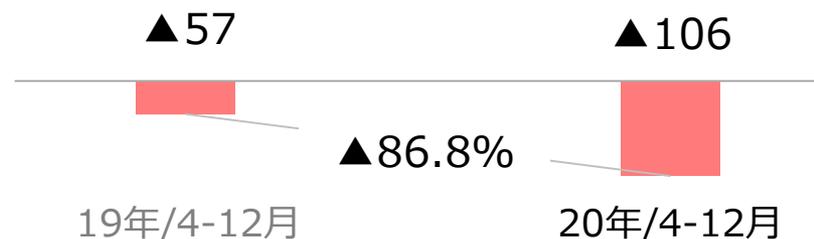
(単位：億円)

- はなさく生命は前年同期比で増収・減益。
- 保険料等収入は、商品ラインアップの拡充等により、開業した前年同期より増加。
- 基礎利益は、事業拡大による事業費等の支出増を主因に減益。

## 保険料等収入



## 基礎利益



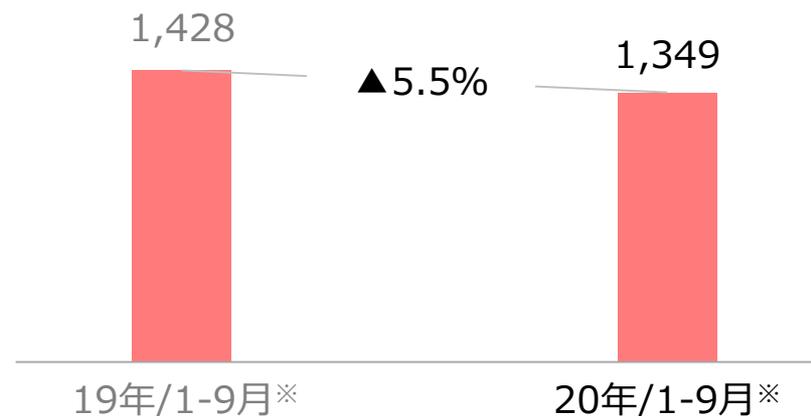
※ 単体の数値を記載

※ はなさく生命を2019年度第1四半期から連結反映

(単位：百万豪ドル)

- MLCは、前年同期比で減収・減益。
- 収入保険料は、団体保険領域における規制変更に伴う保有減少を主因に減収。
- 基礎利益は、団体保険および個人保険領域における死亡保障等の収支悪化を主因に減益。

## 収入保険料



## 基礎利益



- ※ 単体の数値を記載
- ※ 第3四半期決算では1-9月期を連結反映
- ※ 収入保険料は、手数料を除いた数値を記載
- ※ 基礎利益は、税引前利益から金利変動等の影響を除いた数値を記載